

令和7年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校技術】

1 模擬授業の内容について

試験は次の2つについて行う。

試験1（模擬授業①）：材料と加工の技術について、作業を伴った模擬授業

接合の示範作業

試験2（模擬授業②）：情報の技術についての模擬授業

机間指導において、生徒が「テキスト生成 AI」を使用していることがわかった時の生徒への指導

2 実施方法等について

<タイムテーブル>

	0	5		15	20		30	32		37	40	
	試験1						試験2					
説明	模擬授業①の準備 (思案時間含む)			移動 ・ 準備	模擬授業①				模擬授業②		意図 説明	

- ・ 指定された時刻に、指定された会場に来室する。
- ・ 試験1・2の説明を受ける。
- ・ 試験1を開始する。制限時間（10分）内に、模擬授業①の準備を行う。接合の示範の思案の時間も含む。思案の内容を会場に用意されたメモに残し、模擬試験会場に持ち込み、それをもとに試験に臨むこともできる。メモは提出不要とする。
- ・ 制限時間終了時に5分以内に模擬授業会場へ移動し、準備を完了する。
- ・ 移動・準備の5分経過後に模擬授業①を開始する。模擬授業①は10分間である。示範（6分以内）を行った後、生徒役からの質問に回答をする。
- ・ 模擬授業①の終了後、2分間あける。模擬授業①の片づけと模擬授業②の準備を行う。
- ・ 模擬授業②を開始する。模擬授業②は5分間である。終了後に模擬授業②の意図を説明する。

3 模擬授業①「材料と加工の技術について、作業を伴った模擬授業」の想定

- ・ 生徒の実態及び想定している授業は次のとおりとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学1年生の生徒である。 ・ 身の回りのものを整理する課題解決のために、マルチラックを設計し、製作している。組み立ての工程になったため、釘による接合の手順について示範をして、生徒に手順を説明する。

- ・生徒は小学生の時の図画工作の授業でげんのを使用している。ただし、事前調査では、釘が曲がってしまった経験がある生徒は約7割いた。
 - ・けがき、下穴をあける作業は、前時までに終えている。本時は、げんのを使用からの説明を行う。
 - ・げんのをの各部の名称や構造の説明は前時までに行っていない。
- ・安全への配慮も含めて指導する。
 - ・模擬授業（示範）の時間は「6分間」とする。

4 模擬授業②「情報の技術についての模擬授業」の想定

- ・題材は、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラム」であり、双方性のあるコンテンツによる課題解決として、チャットボットの作成を行っている。机間指導において、生徒が「テキスト生成 AI」を使用していることが分かり、指導の必要性を感じたため、指導を行うこととした。
- ・生徒の実態は次のとおりである。

- ・中学2年生の生徒である。
 - ・技術の授業を含む中学校の授業では、「テキスト生成 AI」の使用に関する指導をしていない。
 - ・情報モラルおよび情報セキュリティについての学習は中学1年生に行っている。
 - ・情報通信ネットワークの仕組みについての学習は中学1年生に行っている。
 - ・「テキスト生成 AI」の利用規約では、保護者の同意があれば13歳以上の使用が可能である。
 - ・「テキスト生成 AI」の授業での使用は想定していなかったため、当該生徒を含む生徒全員が「テキスト生成 AI」の使用についての保護者の同意は得ていない。
- ・模擬授業の時間は「5分間」とする。
 - ・模擬授業終了後、模擬授業②の意図を3分以内で説明する。

5 模擬授業を実施するにあたっての持ち物・服装

- ・持ち物は、「模擬授業②の意図等の説明書（別紙）」及び筆記用具とする。

< 模擬授業②の意図等の説明書（別紙）についての注意事項 >

- ※「模擬授業②の意図等の説明書（別紙）」に記載してあることも含めて、模擬授業の意図を3分以内で説明する。
- ※「模擬授業②の意図等の説明書（別紙）」は提出不要とする。
- ・服装については、模擬授業①の内容を意識したものとする（模擬授業②は作業を伴わないが、便宜上、模擬授業①の服装のままで行う）。必要があれば更衣室の利用も可能である。各自、指定された時間までに更衣を済ませて模擬授業に臨むようにすること。

(別紙)

模擬授業②の意図等の説明書

受験番号 ()

「いつ」指導を行いますか
「誰に」対して指導を行いますか
「いつ」「誰に」を上記のように設定した理由について説明してください
指導内容等を含めて、授業の意図について説明してください